

先週のマーケット動向(7月11日~7月15日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,297.0	1,326.7	1,296.6	1,326.1	+25.7
JPY/KRW	9.5144	9.5867	9.4608	9.5623	▲0.023
KOSPI	2,357.43	2,363.26	2,293.45	2,330.98	▲19.63

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は大きく上昇した。前週の米雇用統計が良好な結果になったことから、11日のドル/ウォンは1,297.0ウォンにてオープン。直後に週安値1,296.6をつけた後は、中国でのコロナ感染再拡大による地区封鎖への懸念等あり、市場全体でリスクオフムードとなるなかドル/ウォンは上昇。13日のBOK会合では50bpの利上げ(1.75%→2.25%)を決定するとともに、BOK総裁の会見ではインフレのピークを2022年3Q後半~4Q前半、年末の政策金利を2.75-3.00%程度と予想するものだった。概ね市場通りの内容ではあったものの、当局による介入と思われる動きも入り、ドル/ウォンは若干反落した。しかし、海外時間に発表された6月米CPIが予想以上に厳しいものとなると、市場の一部は7月FOMCIにて1.00%の利上げを予想。かかる状況下、ドル/ウォンは上昇を防ぐ手立てなく1,326.7まで上昇し、結局先週末対比25.7ウォン上昇した1,326.1ウォンでクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは下に行っていくの展開を予想。改善の兆しが見られない米インフレを前に、一部FED高官は年末の政策金利を4.00%近くとするなど、FOMC(7月27日)を前に構造的なドル買いの圧力が入りやすくなっている。先週のドル/ウォンが相応に早かったことからスピード調整が入ることは予想されるものの、トレンドの変化を促す材料は見当たらない。かかる中、ドル/ウォンは1,350を目指し上昇を続けよう。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1305 ~ 1335	9.40 ~ 9.70	137.5 ~ 139.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 19日(火) 欧 6月 CPI 確報値
米 6月 住宅着工件数
- 20日(水) 米 6月 中古住宅販売件数
欧 7月 消費者信頼感指数 速報値
- 21日(木) 日 BOJ 政策金利発表
日 6月 貿易統計
欧 ECB 政策金利発表
- 22日(金) 欧 7月 製造業PMI 速報値
米 7月 製造業PMI 速報値
欧 7月 サービス業PMI 速報値
米 7月 サービス業PMI 速報値
日 6月 CPI